

新たな研修生 21 名を迎えて、10 月 5 日に地震工学研修開講式
(半世紀を越えた地震工学研修：全研修の累計で 1,500 名を超える)

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上国から若い研究者や技術者を招き、「地震工学研修」として地震学・地震工学・津波に関する研修を国際協力機構等と協力して行っております。

このたび来日した 10 カ国 21 名の研修生を迎えて、10 月 5 日（火）に JICA 筑波で「第 51 回地震工学研修」開講式を行い、1 年間の研修が始まります。これで 1960 年に東京大学で開始され、2 回目以降建築研究所で実施してきたこの研修は半世紀を越えて継続して実施されることになりました。

世界各地で頻発する地震災害に鑑み、本研修の重要性は益々増大しています。来年 9 月には、研修修了生が、それぞれの母国に帰国し、地震防災対策、津波防災対策等の専門家として、災害被害の軽減のため、それぞれの母国で活躍されることが期待されています。

今回の研修生を入れると、2 ヶ月程度のコースを含む全ての研修の累計で 96 ヶ国から 1,502 名の研修生が地震工学研修に参加したことになります。

<参考 1：開講式の日程>

第51回地震工学研修開講式

日時：平成22年10月5日（火）14：00～

場所：JICA筑波国際センター（JICA筑波）

（つくば市高野台3-6 Tel 029-838-1115）

<参考 2：研修生の出身国名（10ヶ国=21名）>

中国（2名）、エルサルバドル（2名）、インドネシア（4名）、
ジャマイカ、ニカラグア、マレーシア（4名）、ミャンマー、
ペルー（2名）、フィリピン（2名）、トルコ（2名）

受入対象国は地震や津波の被害を受ける可能性のある開発途上国です。

(内容及び開講式取材の問合せ先)

独立行政法人建築研究所
所 属 国際地震工学センター
管理室長
氏 名 黒 澤 肇
電 話 029-879-0678(直通)
E-mail kurosawa@kenken.go.jp

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。